

令和4年(2022年)5月9日
記者会見資料
社会教育課

(仮称)創造活動・歴史文化交流施設設計業務の委託契約の締結について

1 経緯等

市では、横須賀地区のまちづくりについて、「江戸の古から引き継がれる“町方文化”を市民とともに守り、育み、未来に発信するまち」をまちづくりの理念とする「横須賀文化の香るまちづくり基本構想」「同基本計画」に基づき進めております。(別紙参照)

(仮称)創造活動・歴史文化交流施設整備事業は、基本計画に定めた重点項目である「拠点形成」の事業として行うものです。

昭和55年(1980年)に開館した文化センターの課題であった老朽化や耐震基準に満たないことなどを検討し、令和3年度(2021年度)に新施設整備基本計画を策定しました。文化センターを用途廃止・解体後、跡地に「新しいまちづくりの拠点」として(仮称)創造活動・歴史文化交流施設(新施設)を整備することとなり、この度、新施設設計業務については、株式会社隈研吾建築都市設計事務所と委託契約を締結しました。

2 新施設整備について

(1) 新施設の特徴

「横須賀文化の発信拠点」、「映像(映画)を中心とした創造活動の場」、「多世代交流の場」をコンセプトに、地域の歴史文化を学び、体感するとともに、「映像」を活用することにより、生涯学習活動や創造活動の発展と人々の交流を促進します。また、「木材」の活用等による環境への配慮等、長く人々に愛され、利用される施設とします。

(2) 設計業務契約内容

業務内容	基本設計・実施設計
契約日	令和4年(2022年)4月14日
履行期間	令和5年(2023年)11月30日まで
契約金額	170,643,000円

(3) 事業概要

工事場所	東海市横須賀町狐塚地内（文化センター跡地）
階 数	2階建
延床面積	2, 500 m ² 程度
機 能	ホール・展示機能（映像ホール、ギャラリー等）、交流促進機能（歴史文化・情報発信コーナー、レストラン・カフェ等）、活動支援機能（会議室、編集エリア等）、管理機能（管理事務室等）

(4) スケジュール（予定）

令和4年度（2022年度）	基本設計・実施設計、地質調査等
令和5年度（2023年度）	実施設計、建設工事開始等
令和6年度（2024年度）	建設工事完了
令和7年度（2025年度）	開館

(5) 設計コンセプトについて

別添資料「（仮称）創造活動・歴史文化交流施設建設工事」

横須賀地区の歴史的背景とまちづくりについて

1 横須賀地区の歴史的背景とまちづくりについて

横須賀地区は、約350年前、寛文6年（1666年）に二代尾張藩主徳川光友が「横須賀御殿」を造営し、この地区は「町方」と称されるようになりました。以降、城下町としての扱いを受け繁栄し、その後も知多地域の政治・経済・文化の中心地となり、現代まで往時の町割や祭りが継承されています。

昭和44年（1969年）に上野町と横須賀町が合併して東海市が誕生し、その後の高度経済成長などを背景に市民の余暇活動や学習機会へのニーズが高まるなか、昭和55年（1980年）にこの横須賀地区に文化センターが開館しました。

近年では、地元住民の気運の盛り上がりを背景に、江戸時代から継承された地域資源等を生かしながら、優れた住環境・景観を持ったまちづくりを進めるため、地元住民と何度も話し合いを重ね、「江戸の古から引き継がれる“町方文化”を市民とともに守り、育み、未来に発信するまち」をまちづくりの理念とした横須賀文化の香るまちづくり基本構想及び基本計画を策定しました。これら地域の思いを受け、古い町並みを生かした無電柱化や道路美装を行うなど、歴史と文化を尊重したまちづくりを進めています。

2 まちづくり関連年表

平成25年度（2013年度）	「横須賀文化の香るまちづくり基本構想」策定
平成26年度（2014年度）	横須賀文化の香るまちづくり協議会設立
平成27年度（2015年度）	「横須賀文化の香るまちづくり基本計画」策定 （詳細は、別添「横須賀文化の香るまちづくり基本計画<概要版>」参照）
	無電柱化整備開始（詳細は、別添「横須賀文化と山車のみち景観整備事業」参照）
令和2年度（2020年度）	横須賀文化の香るまちづくり講演会（講演名：「まちづくりの建築の未来」、講師：隈研吾氏） 横須賀文化の香るまちづくり拠点検討ワークショップ（参加者：横須賀文化の香るまちづくり協議会、隈研吾建築都市設計事務所、東海市）
令和3年度（2021年度）	「新施設整備基本計画」策定

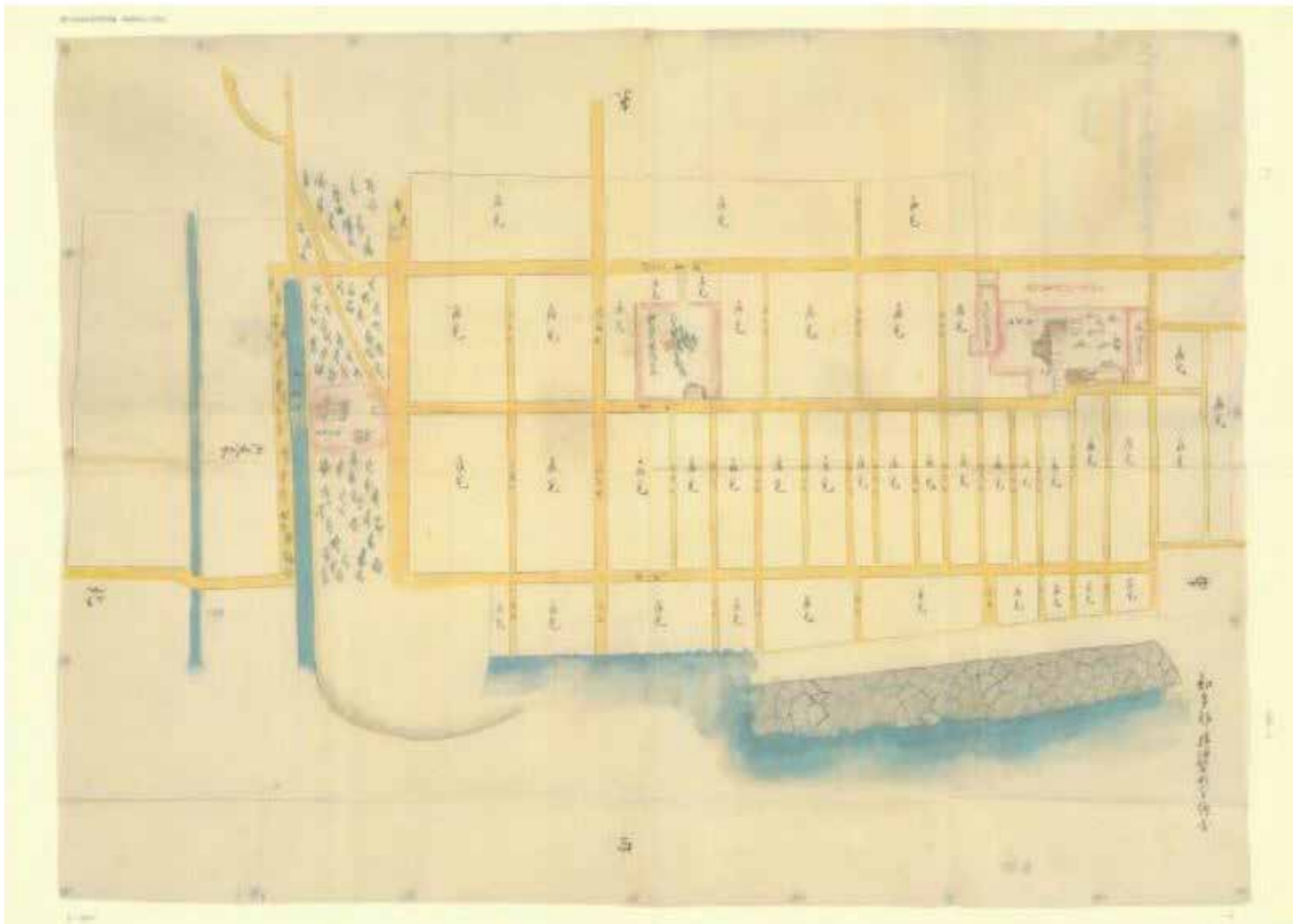
令和4年（2022年）5月9日 記者会見

（仮称）創造活動・歴史文化交流施設建設工事

2022年05月09日

KENGO KUMA & ASSOCIATES

町割をはじめとする道文化



[東海市史 資料編 別巻より]



受け継がれている横須賀文化



からくり人形



藁細工 草履作り

まちに点在する山車蔵

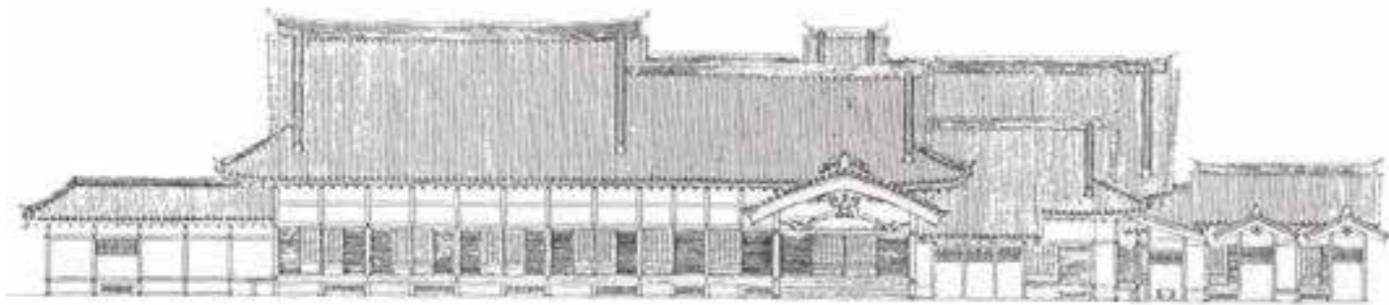


山車



山車蔵内部

① 横須賀文化を継承する屋根と木格子



横須賀御殿〔横須賀御殿学術調査研究報告書より〕



格子のある町並み

曲線屋根と木格子を採用し、横須賀御殿の様に大小様々な屋根の連続で構成することで、横須賀文化を未来へ繋げます。



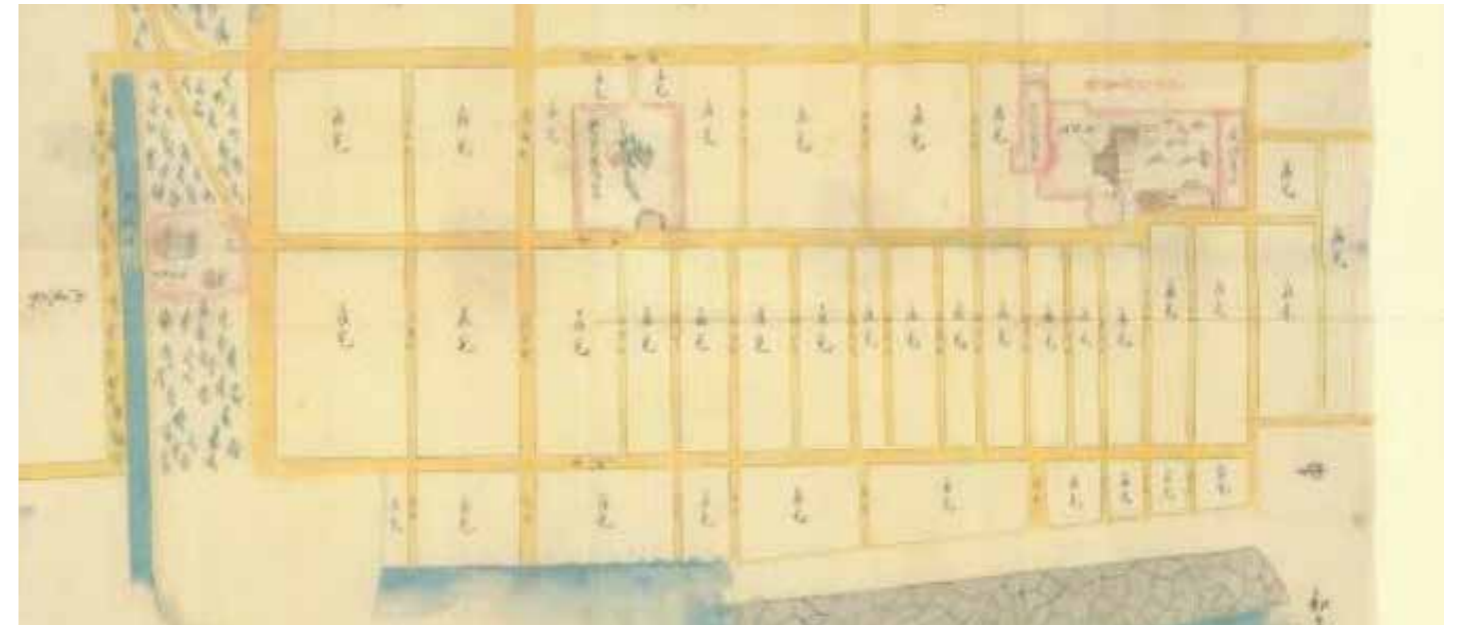
② 大階段とテラスが賑わいをつくるメインストリート



山車祭り



愛宕神社への参道



町割

町割などの道文化が根付くまちと繋がるメインストリートを通し、1階には大階段、2階にはテラスを設けることで、人々が集う屋外空間を整えます。



大階段

テラス

メインストリート

③ エントランス・屋外広場と一体になる **ギャラリー**



山車蔵の大開口



愛宕神社の境内

大開口によって、エントランス・屋外広場と**一体**となり、様々な用途に対応する**まちの広場**のような**ギャラリー**を整備します。



ギャラリー (屋内)

エントランス

屋外広場